

第16回包装新人研修コース

包装にこれから携わる人の入門講座

開催日:平成22年4月15日(木)・16日(金)2日間・合宿制

受講対象:新年度入社される方 入社1~2年の方

主催:  社団法人 日本包装技術協会 関東支部

ご受講のご案内

企業にとって、人材を育てることは、財産を育てるということであり、企業の未来を切り拓く力を育てることになります。

また、これらの人材が戦力として、いかにより早く活躍できるかも大きなポイントになります。

当コースでは、各界の専門家を講師に招き、包装全般に渡る基礎知識の習得から、昨今、包装業界が直面している環境問題・法律問題等に至るまで、包装を判りやすく体系的に解説します。また、合宿を通して、受講生間で交流を深め、今後のネットワーク作りに役立てることが出来ます。

包装の概念を理解し、“他者より豊富な知識を持っている”という自信を最初に与えることにより、更なる自己啓発も可能となります。

どうぞ、当コースを貴社新人教育の一環としてご利用くださいますようお願い申し上げます。

開催要領

日時 平成22年4月15日(木)・16日(金)2日間合宿制

会場 セミナーハウス『クロスウェーブ』

千葉県船橋市本町2-9-3 TEL.0474(36)0111

定員 30名

受講料 会員企業1名89,250円(消費税・テキスト・宿泊費・食事代含む)

*同時に3名様にてお申込みいただいた場合には割引価格 1名様69,300円となります。

*同時申込みに限らせていただきます。また請求書発送後の人数の変更はお受けできませんのでご了承下さい。

一般1名94,500円 ※事前に事務局までお問合せ下さい。

申込締切 平成22年4月6日(火)まで(但し、定員になり次第締め切らせていただきます)

※受講者が決まっていない場合でも、先に受講枠を確保できますので、事務局までお問合せ下さい。

お申し込み方法

① 最終頁申込書に必要事項を全てご記入の上、FAX(03-3543-8970)にてお申込み下さい。

協会HPからのお申込みも出来ます。協会HP:<http://www.jpi.or.jp>

② 申し込まれた方に後日受講証・請求書をお送りします。

③ 受講料は、請求書記載銀行へ開催前日までに銀行振込にてお支払い下さい。

④ 受講者の方が当日都合が悪くなった場合、代理の方の出席は差し支えございません。

お問合せ並びにお申し込み先

社団法人 日本包装技術協会 関東支部

包装新人研修コース係 担当:竹内

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10階

TEL.03-3543-1189/FAX.03-3543-8970

e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

協会HP:<http://www.jpi.or.jp>

● 個人情報の取り扱いについて ●

1. 個人情報は「第16回包装新人研修コース」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 受講申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示・提供することはありません。

● (社)日本包装技術協会 関東支部 各種研修活動のご案内 ●

■人材育成コース

①包装新人研修コース(4月開講)

入社1~2年目の新人を対象に初歩の一般的な包装基礎知識の習得を目指します。

②包装基礎コース(5月開講)

入社3年目以降、または新たに包装分野に就かれる方を対象に、包装の全ての分野にわたって短期間習得を目指します。

③包装管理士講座(6月開講)

包装基礎コースの内容より一歩踏み込んだ広義の専門知識の習得を目指します。一般講義、グループ討議、ケーススタディ等合宿を通して交流親睦を図ります。

④包装アカデミー(6月開講)

専門分野の深度化と高度化を目指します。輸送包装・食品包装・包装材料・医薬品包装の4コースを開講予定。

■専門別人材育成コース

⑤フレキシブルパッケージコース(8月開講)

関連法令・包材の安全衛生・接着性等、柔軟材包装の知識について短期習得を目指します。

⑥ユニバーサルデザインパッケージセミナー(仮称)(11月開講)

多くの人に使い勝手が良く且つ高齢者等にも配慮されたパッケージについて、その考え方を開発事例・体験実習等を通して学びます。

⑦緩衝包装設計コース(2月開講)

緩衝包装の目的、力学基礎、設計技法を実際の緩衝設計プロセスに沿いながら解説します。

⑧段ボール包装設計コース(2月開講)

主に初心者を対象に段ボールの特性を学び、実習時に段ボール箱を作成します。

■時事テーマ別講演会

⑨化粧品包装セミナー(7月開講)

化粧品包装のデザイン、新技術、包材、化粧品業界の動向についてプログラム編成します。

⑩包装材料セミナー(1月開講)

新包材・開発事例・包装資材にまつわる問題や法律の説明、素材別マーケット動向についても紹介いたします。

⑪環境を考える包装革命シンポジウム(3月開講)

環境問題に対する課題の最新動向、ならびに低炭素社会/サステナビリティ社会における新しい包装のあり方について専門家の方から紹介いただきます。

⑫医薬品包装セミナー(3月開講)

医薬品包装の法規、新技術、包材、医薬品業界の動向についてプログラム編成します。

時間	講義
9:00~ 9:10	開講挨拶・オリエンテーション
9:10~10:40	<p>講義 『包装の役割と包装を取り巻く現状』</p> <p>講師 凸版印刷(株) 総合研究所 加藤 武男 氏</p> <p>包装の社会性、包装の役割とその変化を認識した上で、包装産業の現状とこれからの包装実務者に求められる課題について説明し、包装の重要性と21世紀の包装産業のキーワードを考える。</p> <p>1. 包装の役割 2. 包装と暮らし 3. 包装の役割の変化 4. 暮らしを変えた包装の事例 5. 包装産業の現状 6. 包装と環境問題 7. 包装と高齢化社会 8. これからの包装</p>
10:50~12:00	<p>講義 『生活者にやさしい包装とは』</p> <p>講師 エイジング社会研究所 代表 関 悦子 氏</p> <p>子供、高齢者、障害を持つ人を含めた多くの人々がアクセスしやすい包装とは？ 生活者は、日常生活の中でパッケージのどのような点に不便を感じ、どのような包装を求めているのだろうか。身近な商品事例を挙げながら考える。</p>
12:00~13:00	昼食
13:00~15:50	<p>工場見学</p> <p>実際に生産現場を見ることにより、商品が生産され市場に出て行く流れを認識していただきます。現場の雰囲気を感じることが、今後仕事をしていく上で貴重な体験となります。</p> <p>見学先 サッポロビール(株)千葉工場 千葉県船橋市高瀬町2番</p> <p>■竣工：1988年6月 ■敷地面積：17万2,000㎡ ■生産能力：32万kℓ (緑地面積：4万2,000㎡)</p> <p>サッポロビール千葉工場は、首都圏への製品供給を担うサッポロビール社最大規模のビール工場です。千葉県船橋市の東京湾沿いに位置し、目の前に広がる青い海と、敷地面積の4分の1以上を占める花や緑に囲まれた工場であり、環境に対して最大限配慮して、製造工場から出る副産物・廃棄物は100%再資源化しています。千葉工場では、「サッポロ黒ラベル」「エビス」「ドラフトワン」「麦とホップ」など主力商品を中心に8ブランドの製品を製造しています。</p>
16:00~18:00	<p>講義</p> <p>講師 水口技術士事務所 所長 水口 眞一 氏</p> <p>1. 世界的潮流（品質、衛生、安全、環境）において果たす包装（材料）の役割 2. 包装（包装材料）の機能と技法との関係・・・保存学、情報伝達機能 3. 包装材料各論：紙、プラスチック、金属、ガラス 等 4. 複合材料にする理由とメカニズム 5. 包装材料に対する色々な加工方法（塗工、成型、印刷、蒸着 等） 6. 品質、衛生、安全、環境等に対応した包装材料の動き</p>
18:00~19:00	チェックイン・夕食
19:00~20:00	ネットワークタイム

時間	講義
7:30~ 8:30	朝食
8:30~10:40	<p>講義 『プレゼンテーションの技術』 グループ討議 『消費者（生活者）の視点から見た優れた包装とは』</p> <p>講師 TOTAL PRONET 代表（包装専士） 岡 利彦 氏</p> <p>1. プレゼンテーションの技術（講義） ・プレゼンテーションの基本 ・3H&4Mの原則 ・理想と現実の対比と改善 ・対策は！</p> <p>2. 消費者（生活者）の視点から見た包装とは（グループ討議） 現在、市販されている商品の中から、生活者（自分）の視点から見て優れた包装であると思う物を選び、その理由をまとめ、グループ毎に討議をし、一番良いと思われる物の一つを選び発表してもらいます。 ・各包装についてチェックポイントを参考に討議（考察）します。 ・選定した商品の包装について、オリジナルに富んだ改善すべき点を考えて下さい。</p>
10:50~11:50	<p>講義 『包装を取り巻く規制・法律について』</p> <p>講師 JPI技術参与 神奈川科学技術アカデミー研究員 （技術士（経営工学）、弁理士） 白倉 昌 氏</p> <p>生産、流通、販売、消費、廃棄まであらゆる場面で重要な役割を演ずる包装は、多くに規制、法律が関係している。 パッケージの開発、設計、販売で必ず必要なこれらの法令を紹介するとともに、規格（標準化）の取組みを概説する。 ■包装を取り巻く規制・法律の対象 ・衛生、安全 ・危害の防止 ・パッケージに記載の表示 ・リサイクル ・環境対応 ・製造物責任 ・適正包装 ・デザイン ・包装に関する販売</p>
11:50~12:40	昼食
12:40~13:50	<p>講義 『包装設計の基礎と考え方—設計技法と事例—』</p> <p>講師 味の素(株) 食品技術開発センター 包装設計グループ長（包装専士） 原納 成伸 氏</p> <p>包装設計の基本的な考え方や進め方について、特に食品の包装設計の具体的な事例を交えて分かり易く説明する。 併せて、包装設計の簡単な技法についての説明も行い、包装設計の基礎と考え方を理解してもらう。</p>
14:00~15:20	<p>講義</p> <p>講師 オリンパス(株) 物流推進部 物流エンジニアリンググループ 課長 （包装管理士） 藤井 幸則 氏</p> <p>包装設計を行う上で、第一に重要なことは、対象製品の品質特性を正しく理解することです。第二に重要なことは、生産地から消費地に「製品」を運ぶ際の輸送環境を把握し、正しく理解することです。輸送環境は、輸送過程における衝撃、振動、温度、湿度、気圧等の物理的障害、そして、大気中での化学物質等による化学的障害などであり、それらが製品にどのような損傷を与えるかを学ぶ必要があります。そして、これらの障害から防ぐためには、どのような包装仕様が適正かを考え、トータルコストと環境に配慮しつつ、包装設計を行う必要があります。以上の基本的内容について、分かりやすく解説します。</p>
15:30~16:40	<p>講義 『商品企画とパッケージデザイン —商品づくりプロセスとデザインの関わり—』</p> <p>講師 大日本印刷(株) 包装事業部 企画本部 デザイン戦略部 山田 明 氏</p> <p>商品が新製品として市場に出るまでの、企業内でのパッケージ選定の過程や様々な取り組みを判り易く体系的に説明する。</p> <p>1. 最近の商品の傾向からパッケージポイントを探る 2. 商品コンセプト立案からパッケージデザインの表現 3. パッケージデザインの要素と役割 4. 購買動機と心理から見たパッケージの関係 5. 競争関係の中の商品</p>

講師陣

- 凸版印刷(株) 総合研究所
- エイジング社会研究所 代表
- 水口技術士事務所 所長
- TOTAL・PRONET 代表取締役
- JPI技術参与 神奈川科学技術アカデミー研究員
(技術士(経営工学)、弁理士)
- 味の素(株) 食品技術開発センター
包装設計グループ長(包装専士)
- オリンパス(株) 物流推進部
物流エンジニアリンググループ 課長(包装管理士)
- 大日本印刷(株) 包装事業部 企画本部
デザイン戦略部

- 加藤 武男 氏
- 関 悦子 氏
- 水口 眞一 氏
- 岡 利彦 氏
- 白倉 昌 氏
- 原納 成伸 氏
- 藤井 幸則 氏
- 山田 明 氏



受講生の声 —包装新人研修コースを受講して—



- ・包装の機能・特色などパッケージの現状・基礎を知ることが出来た。
- ・まだまだ、知識が足りないと思った。今後包装に携わっていく者としてもっと勉強したい。
- ・新しい知識を社内の人に伝えていきたい。
- ・研修仲間との情報交換も自分へのモチベーション向上へつながり良かった。
- ・二日間という短い期間にもかかわらず盛り沢山の内容だった。

第16回包装新人研修コース受講申込書

FAX.03 (3543) 8970 (社) 日本包装技術協会 関東支部 担当: 竹内

No.

受講者①	氏名	(ふりがな)			e-mail		
	所在地	(〒)					
	会社名				所属役職		
	TEL				FAX		
	年齢		性別		入社年		最終学歴
受講者②	氏名	(ふりがな)			e-mail		
	所在地	(〒)					
	会社名				所属役職		
	TEL				FAX		
	年齢		性別		入社年		最終学歴
受講者③	氏名	(ふりがな)			e-mail		
	所在地	(〒)					
	会社名				所属役職		
	TEL				FAX		
	年齢		性別		入社年		最終学歴
※1 推薦者	氏名				e-mail		
	所在地	(〒)					
	会社名				所属役職		
	TEL				FAX		
※2 請求先	氏名				e-mail		
	所在地	(〒)					
	会社名				所属役職		
	TEL				FAX		

※1未だ所属が決定していない新入社員の派遣を予定されている場合、または、全ての連絡を推薦者宛で希望される場合推薦者の方の連絡先をご記入下さい
 ※2受講料の請求先が受講者・推薦者と異なる場合、請求先欄にご記入下さい。